

① 業務改善事例	○
職場ドック該当事例	
② 府民サービス向上事例	

チーム名	チームアカウント
担当者 【所属名】	明石主査 山口副主査 松尾主事 【会計課】

タイトル	「公所カルテ」の整備 ～会計事務にかかる指導の仕組みの体系化～
------	------------------------------------

アピール ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出納機関としての指導の業務体系の強化 ・ 公所に対する指導の継続性確保
--------------	--

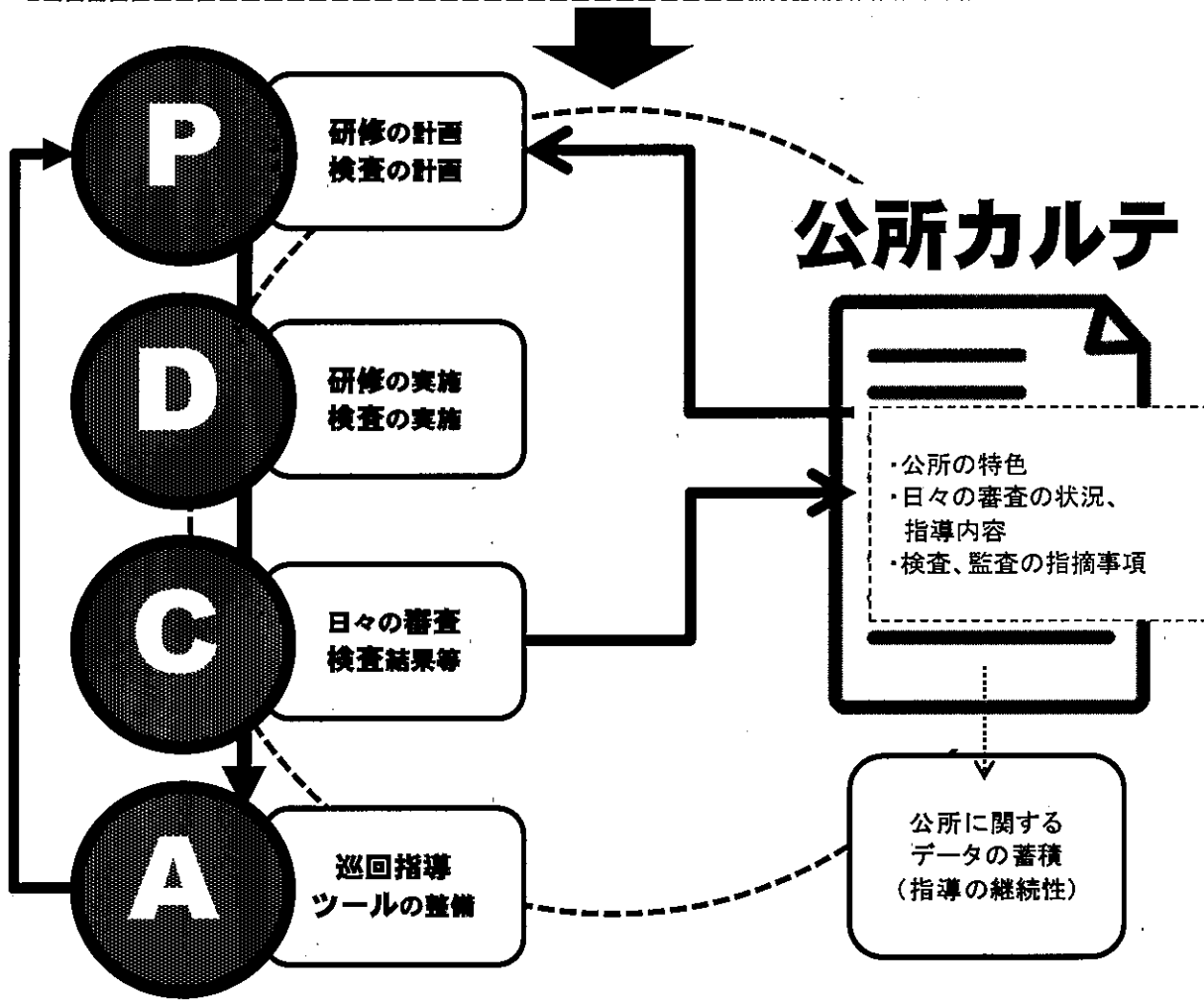
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不適正経理発覚後、各広域振興局管内に会計室を設置 ・ 支出の<u>審査</u>に係る出納機関の機能を独立（牽制機能強化） ・ 階層別、部局（管内）別の<u>研修</u>を多く実施 ・ <u>検査</u>体制を見直し、計画的に実施 ・ 会計事務の手引きや会計通信等、指導のための<u>ツール</u>を整備 ・ 財務指導員による<u>巡回指導</u>を実施 →これら指導手段の連携＝指導体系の強化が急務
----	--

改善 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公所カルテ」を整備 ・ 「公所カルテ」は、会計課、会計室それぞれの所管公所ごとに、担当する会計課、会計室において作成 ・ 日々の審査等における指導事項の特色や、検査・監査で指摘されている内容等を記載
----------	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各公所に関する、<u>指導すべきポイントの明確化</u> ・ カルテ全体を俯瞰することで、全体の研修で取り上げるべきテーマが浮かび上がってくると共に、指導のツールにも反映が可能 →<u>指導体系の強化（PDCAサイクルの構築）</u> ・ 会計課、会計室の担当者が変わっても、カルテのデータに基づく継続的な指導が可能 →<u>指導の継続性の確保</u>
----	--

今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公所カルテの内容を充実 ・ PDCAサイクルの明確化：「処方箋」 ・ 京都府全体で会計事務に関する理解の深化と更なるレベルアップを図っていく
-----------	--

会計事務に係る指導の手段



公所カルテを中心としたPDCAサイクルの構築

会計事務に係る指導体系の強化